

上越市教育研究会社会科部会の取組について

上越市の学校教育研究会社会科部会は、会員63名をもって構成され、社会科部小委員会が中心となって計画・運営している。

本年度は、社会科の授業における「意欲的な学習活動を促す教材の開発」を研究課題に掲げ、次の3つの視点から会員一人一人が日々の授業改善に取り組んできた。

- ① 言語と体験を重視した社会科の授業
- ② 地域素材を生かした社会科の授業
- ③ 資料から分かったこと考えたことを表現する子どもの育成

1 研究内容

- ① 研究課題に迫る社会科の公開授業と協議会並びに講話を実施する。
- ② 会員一人一人が研究課題に迫る授業実践に取り組み、ワークショップで紹介し合う。
- ③ 上越市教育センター事業「スーパーティーチャー活用」との連携を図り、社会科のスーパーティーチャーの授業を参観し、協議をする。

2 活動報告

(1) 社会科部小委員会

- ①期日 7月5日(火) 会場；上杉小学校
- ②内容 研究課題・研究内容の検討

(2) 社会科部小委員会事務局会議

- ①期日 9月5日(月) 会場；上杉小学校
- ②内容 ・公開授業・協議会・講話について
・会員一人一人の実践レポートについて

(3) 指導者を迎えての指導案検討会

- ①期日 11月7日(月) 会場；大町小学校
- ②内容 ・指導案検討会

(4) 上越市学校教育研究会・市教育センター事業連携授業研究会

- ①期日 11月18日(金) 会場；大町小学校
- ②内容 ・スーパーティーチャーによる公開授業 5年担任 泉 実 教諭
・実践レポートの紹介を含む研究協議会
・講話 上越市針小学校長 笠原 正 様

(文責) 上杉小学校 佐藤 正知